



東都生協の個人宅配手数料制度をご案内します

東都生協では、子育て支援・高齢者・障害者・被爆者への配慮・助け合いの精神から、個配手数料について各種の免除制度を設けています。免除制度を利用される場合は申請が必要です。詳しくは下記までお問い合わせください。

※金額については、特にことわりがない限り、税込みの表示となっています。



STEP
01

基本手数料+配達手数料(税込)をいただきます

商品お届け	基本手数料	配達手数料	合計
あり	146円	52円	198円
なし	146円	0円	146円

基本
手数料

個人宅配に関わる手数料です
(商品案内・インターネットなどの情報提供料を含みます)
※商品案内・注文書などの配付手数料ではありません。

配達
手数料

商品のお届けの際にいただく手数料です
商品のお届けがない場合はいただきません

※商品のお届けがあったときのみ配達手数料がかかります。
※チケット、増資、共済、保険、各種募金、引き売り、宅配商品のみご注文の場合は、配達手数料はかかりません。
※生協側の都合で商品のお届けが翌週または後日になった場合、配達手数料はかかりません。ただし通常商品がある場合は、遅延の商品があっても配達手数料をいただきますので、あらかじめご了承ください。

STEP
02

ご注文の金額に応じて配達手数料を
割引する制度があります

1回の注文が基準額を超えると翌週の配達手数料が割引されます

1回の注文合計金額(税抜)	基本手数料	配達手数料	合計
8,000円未満	146円	52円	198円
8,000円以上	146円	0円	146円
お届けなし	146円	0円	146円

※増資、募金は注文金額に含みません。
※予約、早割、登録、ギフトなどの商品は、実際のお届け週の注文金額に加算されます。
※割引される週に配達手数料が発生していない場合は割引されません。
※チケットや宅配商品のみの場合は、配達手数料は発生しません。
※商品が品薄のため注文制限となった際には、お届けされた数量および金額が反映されます。
※Web注文サイト注文済み商品の合計価格表示は税込価格となります。

お問い合わせ先 東都生協 コールセンター 0120-1010-68(フリーコール) 受付時間／月曜～金曜日(祝日可)午前9時～午後6時30分

2023年度 第12回定例理事会(2024年4月4日開催)

- 審議事項** ●農業高校米応援金振り込みの件 ●「アイガモロバ応援隊」募金振り込みの件
●酪農支援「もーもーぼきん」の千葉北部酪農協への寄付金支出の件
●トマト倶楽部協議会への寄付金支出の件
●家事代行利用規程および家事代行(ベビー・キッズシッターサービス)利用規程一部改正の件
- 報告事項** ●「私たちの願い」発行の件 ●常任理事会決議事項報告

2023年度 第13回定例理事会(2024年4月18日開催)

- 審議事項** ●第50回通常総代会議案書確認の件(その1)
●特定監事に提出する決算関係書類および事業報告書の報告の件
●第50回通常総代会における組合員除名の件 ●2024年度総代選挙に関する件
●2024年度組合員活動に関する確認事項の追加確認の件
- 報告事項** ●2024年3月度決算報告 ●各部署業務報告 ●組合員活動委員会報告
●商品活動関連報告 ●第50回通常総代会議案書資料編確認の件
●第50回通常総代会運営に関する件(その1)
●2023年度環境・サステナビリティ活動の報告に関する件
●2023年度第3回総代会議の開催に関する件
●福祉政策2025に基づく2024年度推進計画確認の件
●2023年度内部統制の取り組みに関する報告の件
●子会社および関連会社等に関する報告の件

<3月の私たち>

2024年3月20日現在 ※[]内は前年比

組合員数	260,500人	[101.6%]
加入	12,890人	[182.9%]
脱退	8,700人	[109.9%]
総事業高	33,622,671千円	[97.3%]
共同購入事業	32,209,165千円	
弁当配食事業	383,458千円	
生活文化事業	239,109千円	
生活支援事業	69,197千円	
その他事業	721,742千円	
出資金	6,661,800千円	[99.6%]
1人当たりの出資金	25,573円	[98.0%]
1人当たりの利用高	6,195円	[103.4%]



今後の理事会日程(予定)
・6月20日(木)・7月18日(木)

MOGMOGレポート

2024
6月号

report
01

上映会『線量計が鳴る』
元・原発技師のモノローグ
「あの日」は今日も続いている。

2月11日

とーと会 ブルーヘブン

2023年夏にリニューアルしたセッション
杉並の講座室に集った参加者は24人。

木枯らし紋次郎でおなじみの中村敦夫氏脚本・出演のこの朗読劇は、コロナ禍で公演が中断された末、クラウドファンディングで映像化されたそうです。

福島第一原発事故で全てを奪われた老技師が、104分間静かに、しかし強く語る映像は、一瞬にして「あの日あの時」に観客を連れ戻す迫力にあふれていました。

参加者からは、「中村敦夫さんの独演、2時間弱でしたがあっという間でした」「原発の事故の仕組みから何がどのように絡みついて今の状況になってしまったのか、イラストやグラフを用いながら説明していたので非常に分かりやすく、よい勉強になった」などの感想がありました。

中村氏のモノローグ(相手との会話なしに心情や考えを述べること)は、1対1で話掛けられているようで、メッセージは心に深く届きました。



report
02

思ったより簡単！
手づくりみそ講習会

2月20日

長崎・豊島西ブロック委員会

「さあ、これから暑くなるので、脱げる物は全部脱いでね」と開始早々、ブロック委員長が笑いを誘います。参加は10人。

すでに蒸してある煮大豆に米こうじや塩を混ぜ、袋の上からよく踏んでこねます。なるほど、この動きを見越して薄着になったのですね。粘土状になったら、大きなみそ玉を作ります。それを容器に投げ入れ、平らにならすと9割方完成です。ここまで1時間弱。あとは重石をして部屋に置き、熟成を待つだけ。みそ作りは大変と思っていたけれど、意外と簡単で驚きました。

参加者からは、「香りも味も格別だから、毎年作るようになりました」「みそおにぎりやもろぎゅうなど、みそそのものを味わう料理だけに使って、大事に食べます」などの感想がありました。次の冬には、風味豊かなみその出来上がりです。

みそ踏みはよい運動



これがみそ玉



report
03

おいしい
お好み焼き教室

2月21日

豊平ブロック委員会

オタフクソース(株)の松本直大さん、山本怜さんを講師に迎え、日野市の平山李重ふれあい館にて開催されました。参加は10人。「キャベツは寒玉が甘くて最適」「途中へうで押しつけません」など、おいしい焼き方の工夫を「お好み焼士インストラクター資格」を持つ講師お2人からアドバイスを受けて調理開始。甘く、濃厚な「OTAFUKUソース」と香ばしい香りが食欲をそそり、まさに「おいしいお好み焼き」を試食することができました。参加者からは、「焼く直前に混ぜるのがコツと分かった」「フワッフワでおいしかった」「早速家でも作ります」などの感想がありました。講師からも「皆さんの笑顔が見られてうれしかった。楽しい時間でした」との感想が。「好きなものを入れて作れるから『お好み焼き』です」という言葉にも納得。皆さんもフワッフワなお好み焼きに「OTAFUKUソース」をたっぷりかけてどうぞ。



ハート型のお好み焼き



Pick
up



～災害時のトイレは大丈夫？～ トイレについて考えよう！

開催日：3月1日 講師：特定非営利活動法人 日本トイレ研究所 松本彰人 氏

東都生協50周年実行委員会、3.11を忘れない作業チーム、東都生協災害ボランティア共催の防災学習会「トイレについて考えよう」は、定員60人に対し、申込者が120人以上となりました。講師の松本氏の話真剣に聞きながらメモを取り、質問をする参加者が多くいたことがとても印象的でした。

人が生きていくためには「食べる」だけでなく、排せつも重要です。阪神・淡路大震災から東日本大震災、熊本地震を経てもなお、「災害時のトイレ対策」は課題だと語ります。「災害用トイレの備えはしていますか？」の問い掛けに85%の人が準備していないとのこと。いったん災害が起こるとライフラインが止まります。人は平均で3～6時間以内にトイレに行きたくなくなるという統計がありますが、避難所などの仮設トイレは、3日～7日かかっても約50%しか設置されないため、自宅など

での事前準備が必要なことが分かりました。「トイレを我慢」することで、命や健康にも大きく影響します。

講師の松本氏は、避難所でのトイレ事情を説明しながら、在宅避難時の「携帯トイレ」の設置方法や種類、使い方、排せつ袋の保管場所や回収・処分の方法を解説。災害時は自宅トイレを流してはいけない理由、避難所などに設置されている「マンホールトイレ」の構造についても学び、避難所運営で衛生環境を保つための設置方法も伺うことができました。

最後に、東都生協でも取り扱っている災害用の「携帯トイレ」(凝固剤タイプ) 商品数種を実際に試し、固まり具合や時間も確認することができました。参加者からは、「家族や友人にも災害時のトイレ問題や事前準備などについて広めていきたい」などの感想がありました。

必ずやってほしいこと

- ①家族でトイレについて話し合う
- ②「携帯トイレ」を備える
- ③災害時は、真っ先に「携帯トイレ」をつける



講師の松本彰人氏